

たび 旅 GIRL



Profile

窪 咲子(くぼ さきこ)

1987年生まれ。編集、ライター。出版社を経て、世界一周の旅に出発。トラベルライターとして仕事をしながら世界中を旅する。今までに訪れた国は65カ国。地球の歩き方WEBサイトにて世界各国で出会ったイケメンのストリートスナップを掲載する『世界イケメンハンター』を執筆。帰国後は『マツコの知らない世界』や『アイム冒険少年』などメディアにも出演。著書に『GIRL'S TRAVEL』(ダイヤモンド社)、『恋する世界一周』(イカロス出版)。



海外は危険な事が多いと聞きますが、窪さんは世界一周している時に危険な目に遭いませんでしたか? 危険な目に遭わないコツがあったら教えてください。

世界一周に行くまではバックパックを背負ったこともない旅行初心者だった私。やはり、一番恐れていたことは、旅先でのトラブルでした。ガイドブックやブログを読み漁り、睡眠薬強盗やスリなど危険な目に遭ったというエピソードを見ては「本当に大丈夫なのだろうか」と不安に震えていました。

しかし、実際に旅をしてみると、危険な目に遭わないために気を付けるべきことは実にシンプルだということに気づきます。守っていたことは、「知らない人についていかない」「夜出歩かない」「人通りが少ない場所は避ける」など、誰にでも思いつくような簡単なことばかり。おかげで結果的に、世界一周の旅をした1年8か月の間、とくに大きなトラブルに遭うこともなく、無事に帰ってくるのが出来ました。

実際にトラブルに遭った人の話を聞くと、旅行先の非日常感にテンションが上がり、判断を誤ることが原因のようです。“ちょっとだけだからきつと大丈夫”と荷物から目を離したり、夜間の外出をしたりと、少しの油断が命取りになります。どの街にも犯罪



が起きやすい場所や時間帯は存在し、「絶対に安全な場所」は存在しません。私はホステルにチェックインしたらまず、フロントのスタッフなど、信用できる



地元の人に地図を見せ、危ない場所や注意すべきことを教えてもらうようにしていました。

また、訪れる街でどのような手口の犯罪が起こっているのか調べておくことも大切です。スペインのバルセロナを訪れた際、観光客風の男性に道を尋ねられ立ち止まると、直後に警察官だという男性2人組が

やってきて「麻薬所持の検査をするから荷物を見せろ」と言われました。これはスペインを中心にヨーロッパで多くみられる“偽警察官”の手口で、荷物を見せると巧みにクレジットカードや現金を抜き取るのだそう。私は事前にこの手口をネットで見て知っていたため慌てずに済みましたが、本当にネットに書いてあったものと同じ手口に遭うとは思っていなかったのが驚きました。結局、「本物の警察官なら、警察署に行って荷物を見せます」と伝えたと男たちは去って行きましたが、もしこの手口を知らずに荷物を見せていたら、貴重品を盗まれていたことでしょう。

こういった内容を頭の隅に置いておくだけで、旅先でのトラブルを防ぐ効果があると思います。特に初心者の方は事前の準備をしっかりとし、「郷に入っては郷に従え」の精神を忘れずに旅行を楽しんでください!

最近の 旅ニュース

NEWS OF THE TRIP

ロサンゼルスからレンタカーで約3時間。カリフォルニア州の砂漠の真ん中に突如現れる色鮮やかな丘「サルベーション・マウンテン」を訪れました。はじめてこの場所を写真で見たときは、青空にも負けない派手な色使いやインパクト抜群の「God is Love」の文字に衝撃を受けたものです。

これは、レオナード・ナイトさんというおじいさんが約30年かけて、山の側面に粘土を貼り付け、作られたアート作品。ポップでかわいい景観はどこを撮っても絵になるフォトジェニックスポット!車がないと行きづらい場所ですが、サンディエゴから日帰りツアーも出ているそうですよ。



旅ガール窪咲子さんに聞いてみたい旅の疑問を募集中! 詳しくは日本ユースホステル協会 hm@jyh.or.jp まで!